

土木学会論文報告集

Proceedings, JSCE

No. 284

1979-4

論文

- 曲線橋模型の動的応答に関する解析的研究..... 川島一彦..... 1
ジョセフ・ペンゼン
- 残差相互スペクトルによる地震動の波形特性..... 星谷勝裕..... 15
石橋
- 構造部材の損傷度と劣化履歴地震応答に関する基礎的研究..... 後藤尚男..... 23
藤村原 和豊
- 強震地震動の非定常スペクトル特性とその波動論的考察..... 神山真..... 35
- 中立粒子浮遊流とカオリンフロック、カオリン浮遊流の乱流特性..... 三村信男..... 49
松尾友矩
- 正規圧密粘土の静止土圧係数..... 安原一哉..... 59
- マンマシンシステムによる環境影響評価をとり入れた路線選定..... 内山久雄..... 65
中村英夫
- 統計的方法による道路の事故危険度評価に関する研究..... 斎藤和夫..... 73
来照俊
- 公共事業の影響を把握するための地域モデルに関する研究..... 岩松幸雄..... 89
吉川勝道
- 計画盤モデルを用いた造成計画の研究..... 浜嶋敏一郎... 105
- まだ固まらないコンクリートのレオロジー定数測定法に..... 村田二郎... 117
関する一提案 菊川浩治
- 生存確率を考慮したコンクリートの圧縮疲労強度に関する研究..... 松下博通... 127
徳光善治
- Lateral (Vertical) Vibration of a Continuous Beam-Bridge
 with Variable Cross-Sections Torao Taya ... 139
(変断面連続桁橋の横振動) (多谷 虎男)

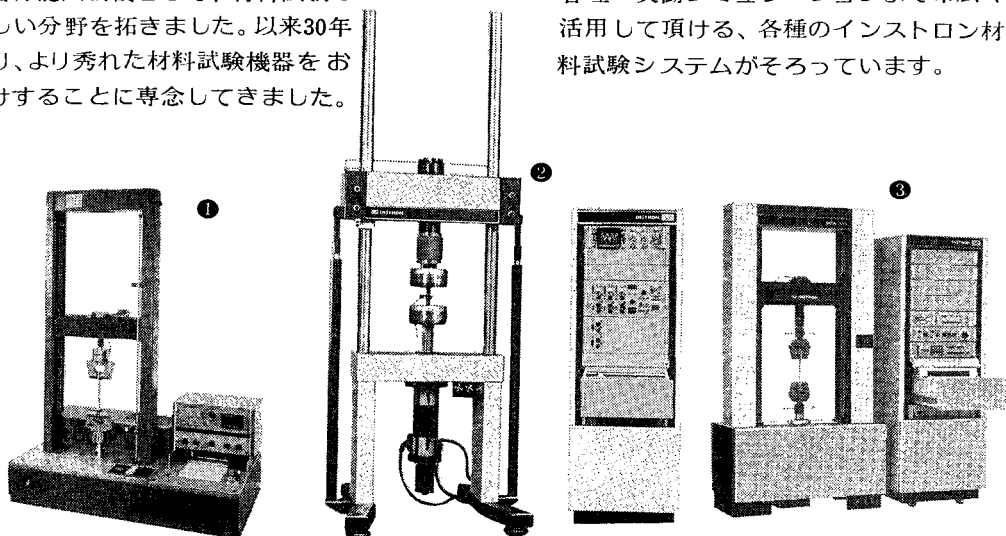
30年間

MARKING 30 YEARS LEADERSHIP

世界の材料試験機をリードしてきました。

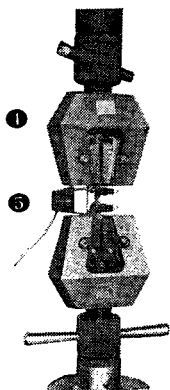
1946年、インストロンが誕生。負荷機構・測定方式とも電子技術を採用した、定速伸長型精密万能試験機として、材料試験の新しい分野を拓きました。以来30年余り、より秀れた材料試験機器をお届けすることに専念してきました。

今日、ますます発展し多様化する複雑な材料試験の要望に応え、材料の基礎研究から品質管理・実働シミュレーションまで幅広く活用して頂ける、各種のインストロン材料試験システムがそろっています。



インストロン材料試験システム

- ① インストロン1130シリーズ万能試験機は、どなたにも手軽に使える〈普段着のインストロン〉。荷重容量500kgから10 tまであります。
- ② 新しいインストロンの油圧サーボ式試験システム1320/1330シリーズ。安全で容易な操作・静かな運転音・高い信頼性に重点をおいた新設計。低・高サイクル疲れ、シミュレーション、熱疲労、引張・ねじり複合、高速引張など広い応用範囲を持っています。
- ③ 静的試験機の最高峰を極めたインストロン1120シリーズ。水晶発振器とアナログ閉ループサーボで制御される高精度の



- 試験速度をはじめ、IC化されたコンピュータ・コンパチブルの電子回路等々、最新の技術を結集しています。
荷重容量500kg～50 t
- ① 材料試験技術の一部門とは云え、グリップの優劣は試験の結果を大きく左右します。定評あるインストロンのグリップは、種類が豊富なことと、独特の作動方式とによって、あらゆる材料の精密な試験に役立っています。
 - ⑤ インストロン独自の標点間伸び計は、高感度・高精度に加えて小型軽量、その上高温でも使えます。

このほか、キャピラリー・レオメータ、温度槽など各種の付属装置にも、この道30年の技術の蓄積が活かされています。



インストロン・ジャパン株式会社

極東支社 103 東京都中央区日本橋箱崎町18-10(東成ビル) 03-669-0011
大阪営業所 531 大阪市淀川区中津1丁目13-13(西川ビル) 06-371-8154

PROCEEDINGS OF THE JAPAN SOCIETY OF CIVIL ENGINEERS

No. 284 April 1979

CONTENTS

Theoretical Investigation on Dynamic Behavior of a Curved Model Bridge Structure	<i>By Kazuhiko Kawashima and Joseph Penzien</i>	1
Wave Characteristics of Earthquake Ground Motion by Residual Cross Spectra	<i>By Masaru Hoshiya and Yutaka Ishibashi</i>	15
Studies on Cumulative Damage of Structural Elements and Earthquake Response of Deteriorating Hysteretic Structures	<i>By Hisao Goto, Hirokazu Iemura and Yutaka Sugihara</i>	23
Nonstationary Characteristics and Wave Interpretation of Strong Earthquake Ground Motions	<i>By Makoto Kamiyama</i>	35
Turbulent Characteristics of Suspensions of Neutrally Buoyant Particles, Floes and Kaolin	<i>By Nobuo Mimura and Tomonori Matsuo</i>	49
Coefficient of Earth Pressure at Rest in Normally-Consolidated Clays	<i>By Kazuya Yasuhara</i>	59
Route Location with Consideration of Environmental Factors by Man Machine System	<i>By Hisao Uchiyama and Hideo Nakamura</i>	65
A Study on the Identification of Hazardous Highway Locations by Statistical Methods	<i>By Kazuo Saito and Terutoshi Kaku</i>	73
A Study on the Model to Simulate the Impact of Public Investment to Communities	<i>By Sachio Iwamatsu, Katsuhide Yoshikawa and Michio Kanai</i>	89
A Study on the Earth Design by Using Land Model	<i>By Koichiro Hamajima</i>	105
A Proposal on the Method for the Estimation of Rheological Quantities of Fresh Concrete	<i>By Jiro Murata and Hiroji Kikukawa</i>	117
A Study on Compressive Fatigue Strength of Concrete Considered Survival Probability	<i>By Hiromichi Matsushita and Yoshiharu Tokumitsu</i>	127
Lateral (Vertical) Vibration of a Continuous Beam-Bridge with Variable Cross-Sections	<i>By Torao Taya</i>	

Japan Society of Civil Engineers

Yotsuya 1-chome Shinjuku-ku Tokyo 160

JAPAN